

G 西岡坂めぐり・水源池通ルート

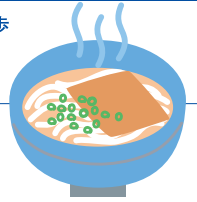
約4.6km 所要時間/約1時間20分

歩数/6,600~7,700歩

消費カロリー/約340kcal

[ぎつねうどん1杯/約360kcal]

※消費カロリーは、体重60kgの人で平地ハイキングの場合。



自然そのままの西岡水源池と、バラエティにとんだ坂を楽しむことのできる少々ハードなルートです(見返り坂は体験の価値あり)。水源池はバードウォッチングをはじめ、トンボやホタルの生息地として環境省指定「ふるさと生きものの里」にも指定されています。豊平区が誇る自然ふれあい活動のフィールドの代表です。

見所ポイント

G-1 西岡八幡宮

西岡4条8丁目7

西岡八幡宮の起りは、明治20年代に入植した森金蔵氏が、出身地の兵庫県から御分霊を自分の敷地であったこの地にほこらを建てたことに始まります。明治26年現在地に転移しました。



G-2 見返り坂

西岡1条10~11丁目

登りながら、思わず「どこまで登ったか」と振り返って確認したくなる急な坂ということで名付けられました。

G-3 油沢の坂

西岡3条13~4条13丁目

この地帯には油が染み出していたことから名付けられました。染み出した油は馬車の潤滑油として使われました。

G-4 西岡公園

西岡544番地ほか

水源池と取水塔

旧水源池は、月寒の歩兵第25連隊の軍施設に給水する、市内で最初の水道である「月寒水道」の水道貯水池として使われていました。豊かな自然が残り、野鳥やホタルなどさまざまな動植物が四季を通じて散策にくる人の目を楽しませてくれます。



不動明王

水源池の堤防を守るためにまつられたもので、昭和20年頃まで祭事が行われていました。堤防から橋を渡り階段を登ると木立の前に小さな社が建っており、今もお供えが絶えません。



八橋周辺(トンボとホタルの生息地)

公園入口の駐車場のそばに広がる芝生スペースは、月寒川のせせらぎを聞きながらお弁当を広げるには手軽な場所です。川にかかった八橋付近では水遊びを楽しむことができます。



寄り道情報

西岡中央公園

西岡1条7丁目

大学の坂に隣接している、白樺林などの自然が楽しめる公園です。また、パークゴルフ・テニスのできる施設があります。



大学の坂

西岡2条7丁目

札幌大学と西岡中央公園の間にあるならかな坂です。昭和50年代後半より木の看板が立てられていて、木漏れ日の感じられる坂となっています。

